

田舎の会社だつて 可能性が広がるんです 有名キャラや大手企業との商談が続々発生

妊娠中の母親の心音をオーダーメイドでCDに録音、商品化した「安心音」。2009年の東京ビジネス・サミットで大賞を受賞後、広く注目され、大手や海外の企業との商談が進んでいる。開発したオリオン(宮崎県延岡市)にその手応えを聞いた。



2009年に大賞を受賞したオリオンの「安心音」。赤ちゃんに母親の心音を聴かせるCDだ

海外企業との商談も進む

赤ちゃんがもつとも安心できる音は、胎内で聴いていた母親の心音ではないか……。そんな着想から09年に誕生した「安心音」。「サミット」に出展しなければ、その後の展開はあり得なかった」とオリオン・新名静子社長が語るように、大賞受賞を機に大飛躍を遂げている。

09年11月のサミットから約1年半。「実績はまだ伴っていないが」と新名氏は謙遜しつつ、こう話す。「大手企業との取り引き、百貨店での販売など、すべて大賞という看板があったはじめて得られた結果だと思っている」

同社は受賞後、テレビ・新聞に「大賞受賞企業」として、何度も取材・報道された。「安心音」の売れ行きはサミット出展前、県内で個人を対象に10数枚程度。だが受賞を契機に一般企業からの引き合いが急増した。「取り扱わせてほしい」「カタログに載せたい」といった要望が相次いだ。「大賞というだけでそれなりの目で見られるのは、大きな助けになっている」(新名氏)

販路の広がりという点では、県外の百貨店での販売が実現。また韓国、中国の企業からも「販売したい」との打診を受けた。さらに幼児教育研究所での取り扱いも決定している。大手企業との取り引きという点で

分析する。

現在同社では、新商品の開発も意欲的に行っている。この2月に販売を開始した「安眠音」がそれだ。これはリラクゼーションしたい人や不眠に悩む人を念頭にしたもの。自分の心音を録音、その人が心地よいと感じる音域とリズムに心音を加工してCD化する。

「心音はその人のものを録音する。さらに音域とリズムに合わせてカスタマイズする。いわばダブルオーダーメイドになる」と新名氏はその特徴を語る。

「惚れた商品だから」の自信

「安眠音」には三つのオプションがある。一つは心音を自然の音とミキシングした2通りのCD。

もう一つは作曲家・松井忠重氏が心音を自らの曲とミキシングしたCD。最後の一つは、東京ビジネス・サミット大賞の受賞企業同士のコラボレーションで生まれた。2010年の大賞受賞企業、エンサウンド(愛媛県松山市)が開発したスピーカーで、「心音を最も心地よく再現するスピーカー」と新名氏は語る。

エンサウンドとの交流は、10年のサミットに、前年の大賞受賞企業として参加した時に始まる。

エンサウンド・菅順一社長が、「心音を聞くなら自分のスピーカーが絶

は、乳幼児向けミルクのメーカー数社から、妊娠中のお母さんに配るフリーペーパーへの掲載を打診されている。

キャラクターとのコラボ

「安心音」とキャラクターとのコラボレーションも進んでいる。海外でも人気のキャラクターを展開する企業に自ら売り込みをかけ、プレゼンテーションした。口説き文句はこうだ。「御社のキャラクターは子どもにも人気がある。「安心音」にキャラクターを入れた商品はどうですか。乳児の頃から親子でファンになってくれるのでは」

先方の担当者は「安心音」を高く評価、現在は商品化に向けて商談が着々と進んでいるという。

「こちらは田舎の会社だから、何のつながりもなく」と語る新名氏。この時は紹介ではなく直接電話をかけている。

実に勇気ある行動だが、門前払いとならなかつたのは、商品のオリジナリティがあればこそ。そして大賞受賞というアピールできるものがあったから……。新名氏はそう自身で

対に合うはずだと言って、試してくれた」と新名氏は振り返る。サミットから約一週間後、電話で連絡があり、今度は菅氏が延岡を訪ねて来た。話し合ううちに、どちらからもなく「何か一緒にやろう」と決まった。「心音の低い音がよく響くし、クッション型だから抱くことで心地よさが出る」(新名氏)という強みを生かそうということになった。

オリオンとエンサウンド。サミット大賞をともに受賞し、特許を持つ両者の質沢なコラボレーションは、こうして成立した(開み参照)。

新名氏はそんな実績を振り返りながら、まだ見ぬ。新たな大賞受賞企業にエールを送る。

「出ようかどうか、悩んでいる企業の方には、『悩むなら出てみて』と伝えたい。出れば、新しい商品を必要とする企業にも会えるから」

ウチは田舎の小さな会社だからと尻込みをするなら、オリオンの飛躍に注目すべきだろう。

エンサウンドのスピーカーとは

エンサウンドは菅順一社長が「自分の思い通りの音を出すスピーカーが欲しい」と開発に着手し、立ち上げた会社。音と光を奏でるスピーカー「TOMORI」で大賞を受賞した。これを携えた菅氏とオリオンが出会い、エンサウンドが新たに開発したクッション型スピーカーから「安眠音」が流れる新商品が生まれた。



エンサウンドの菅順一社長。「クッション型スピーカーなら抱いたまま「安眠音」が聴ける」



新商品の「安眠音」が流れるクッション型スピーカー。「低音がよく出るため、心音の再現に向いている」(新名氏)



オリオンは2009年の東京ビジネス・サミットで大賞に輝いた



今年2月に発売した新商品「安眠音」ほか、「安心音」には多様なバリエーションができた。前列、左から2番目が新名静子社長

Company Profile

オリオン(癒しの心音グループ)
宮崎県延岡市幸町2-89-2
資本金 800万円
従業員 12人
0982-26-0577
http://heart.i-shinon.com/